

#### 4. 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 「ゲノム編集技術を用いた農水産物の画期的育種改良」のうち 「生産者ニーズ高い形質を有するマグロ創生」

濱崎将臣・吉川壮太・山田敏之・門村和志

本プロジェクトは、平成26年度から国立研究開発法人 水産総合研究センター西海区水産研究所を中核機関として、広島大学、愛媛大学、長崎大学、近畿大学、長崎県が参画し、ゲノム編集技術を用いてクロマグロの育種に取り組み生産者ニーズの高い形質を有するクロマグロを作出することを目的としている。

当水産試験場では、ゲノム編集をおこなったクロマグロの形質評価を実施する上で必要な小規模水槽を用いた飼育技術の開発を担当している。平成26年度は、500L水槽を用いて計3回次の飼育試験を実施し、飼育条件の検討を行った。

(担当：濱崎)